

保証書

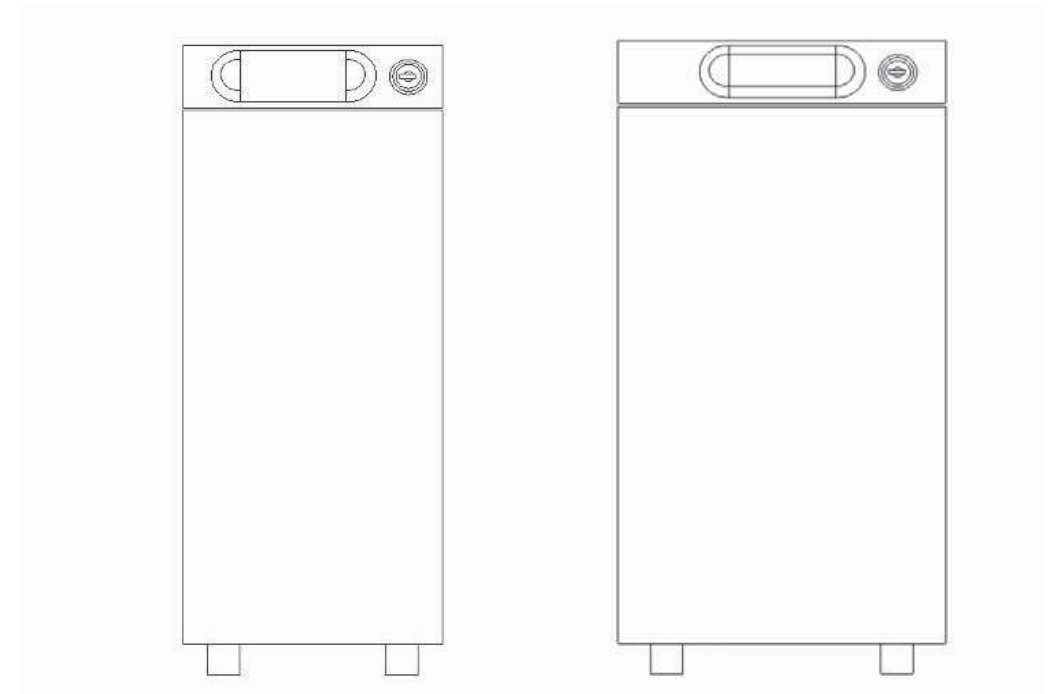
製品をお買い上げ頂きありがとうございます。保証期間内に取扱説明書、注意書に従って正常な使用状態で使用していて故障が生じた場合、本証書の記載内容に基づきお買い上げ販売店が無償修理いたします。

製品名		ミルククーラー	
型名		SKR-16-2	
		SKR-20-2	
保証期間		お買い上げ日より 1年	
お買い上げ日		年 月 日	
お客様	ご住所		
	お名前		
販売店	住 所		
	店 名		印

輸 入 販 売 元	株式会社サンコー冷機 千葉県市川市本行徳 31-14
-----------	-------------------------------

ミルククーラー 取扱説明書

型 名： SKR-16-2
SKR-20-2



この取扱説明書をお読みにになり正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書は保証書と共に大切に保管ください。

目 次

(1)ご使用の前に

安全上のご注意(必ずお守りください)	2
使い初めに	
・据え付け	10
・使い始めの手順	11
・上手なミルクパックの入れ方	11

(2)ご使用のしかた

ミルクチューブ挿入口部品の取り付け方法	12
各部の名称と運転方法	13
ミルク室の温度コントロール	14
鍵の使い方	15

(3)お手入れ

部品のはずし方	15
お手入れのしかた	16

(4)アフターサービス

仕様	17
付属品	18
保証とアフターサービス	18
修理・保守点検	18
お客様ご相談窓口	18
故障かな？と思ったときは(修理を依頼される前に)	18

□付属品

付属品名	個 数
レシーバ	1
スペア鍵	1
取り扱い説明書	1

□保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証について

◆この商品は保証書付です。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認頂き大切に保管ください。尚、食品や飲料の補償など製品修理以外は対象になりません。

◆保証期間は、お買い上げの日から一年間です。

保証期間中でも、お客様の取扱過失、異常環境(電源、周囲温度ほかなど)、天災ほか等による外部要因による故障は有料となります。

◆保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご希望により有料修理致します。

◆補償用性能部品の保有期間について

補償用性能部品の保有期間は、製造打切後、部品購入メーカーよりの購入可能期間となります。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

□修理・保守点検

WMF認定の技術者が必ず行います。

□お客様ご相談窓口

製品についてのご相談や修理は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

□故障かな？と思ったときは(修理を依頼される前に)

こんなときは	ここをチェック	対応の仕方
温度表示ランプ消灯	電源が入っていますか。	裏面の電源スイッチをONにする。
		コンセントに電源プラグを入れる。
		電源ブレーカーをONにする。
冷えない	底面のコンデンサフィンが目詰まりしていませんか。	ブラシなどで清掃してください。
	左右側面と背面の排気口をふさいでいませんか。	取り除いて通気を良くしてください。

単品で水洗いが出来る部品

- ・レシーバ
- ・チューブガイド(ミルクチューブ挿入口部品)
- ・ブラインドブッシュ
- ＊本体より取り外して、水洗いしてください

ドアパッキング部

汚れやすいところなので、よくふき取るようにしてください。

ミルククーラーの背面、底面、床内部のお手入れ

- ・空気の対流(圧縮機、熱交換機冷却用ファンモータによる、吸・排気)により細かいほこりが付着して黒く汚れやすいところです。
- ・定期的に、背面、底面、側板のスリット部を掃除機を使用してコンデンサ(放熱器)及び内部のほこりを吸い取ってください。

□仕様

型 名	SKR-20-2	SKR-16-2
種 類	飲料ミルク冷却用冷蔵庫	同 左
電 源	100V 50/60Hz	同 左
定格消費電力	118W/138W	同 左
外 形 寸 法	200mm(幅)	160mm
	500mm(奥行)	同 左
	412mm(高さ)	同 左
重 量	18kg	17kg
内 容 積	7.7L	5.6 L
冷 却 器	中国製コンプレッサ	同 左
冷媒の種類	HFC-134a	同 左
温 度 調 整	デジタル温度計(LED表示)	同 左
扉	鍵付き	同 左
電 源 コード *1	3m	同 左
電気用品安全法施行令に定める電気用品(特定電気用品、特定以外の電気用品)		

*1電源ケーブルの交換は必ずWMF認定の技術者が行います。

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

安全上のご注意

警告の表示の種類と意味

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

- 誤った取扱をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	人が傷害を負う危険が予想される場合及び物的損害の発生が想定される内容です。

- 守っていただく内容について、絵表示で説明しています。

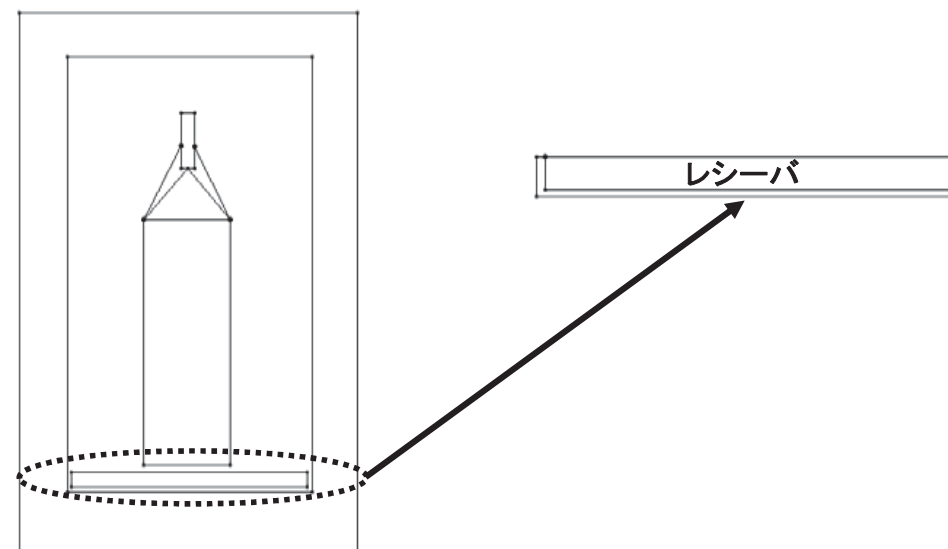
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		改造禁止
			接触禁止
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。		アース接続
			電源プラグを抜く
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。		破裂注意
			感電注意
			指をはさまないよう注意
			発火注意

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ずに保管してください。

警告

開梱、据付け、移動は専門技術者に依頼する	
	開梱、据付け、移動は専門の据付け技術者またお買い上げ先に依頼してください。
	不安全な据付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
屋外で使用しない	
	雨水のかかる場所、湿気の多い所、水のかかり易い場所での据付けは使用しないでください。
	・雨水のかかる場所で使用すると、漏電、感電の恐れがあります。
	・湿気の多い所や水のかかり易い場所に据付けると絶縁低下から漏電、感電の恐れがあります。
無断で改造しない	
	無断でクーラーを改造しないでください。
	事故発生の恐れがあります。
アースを接続することが望まれます	
	不安全なアースは感電の恐れがあります。
ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。	

ミルク レシーバ(こぼれ受け部品)



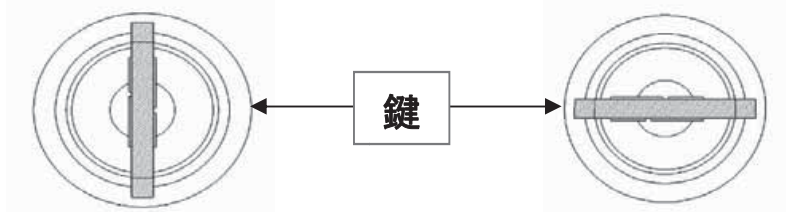
レシーバを使用してミルクの汚れを受け止めて、容易に取り外して汚れを落とせるようになっています。

□お手入れのしかた

- 1、電源プラグを抜く。
- 2、ミルク室内のミルクパックを取り出してレシーバを取り出す。
- 3、汚れをふき取る。
落ちにくい汚れは、中性洗剤で洗い落してから清潔な布で水滴をふき取ってください。
- 4、水滴が残っていたら、さらにかき拭きをする。
- 5、水洗いしたレシーバは元の場所に戻してください。
- 6、電源コード、電源プラグ、電源コンセント、アース線継続の点検をする。
“電源コードに傷がありませんか？”
“電源プラグが熱くなっていませんか？”
- 7、電源プラグをコンセントに差し込む。

□鍵の使い方

扉に鍵をかけられるように扉より上部の右側に鍵を設けてあります。



扉がロックされている状態
(鍵は垂直方向)

扉がロックされていない状態
(鍵は水平方向)

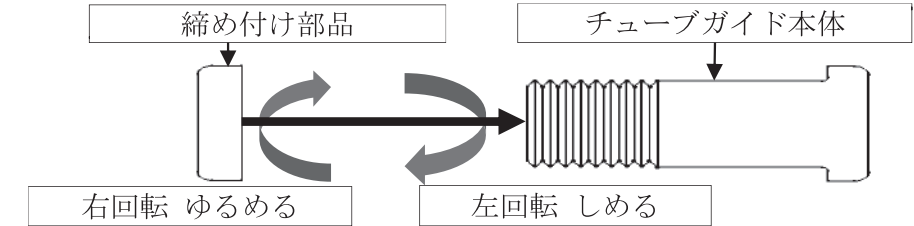
- (1) 鍵を回すときは、鍵穴の奥まで鍵を確実に押した状態で回すようにしてください(押しこみが不足していると鍵はスムーズに回りません。また、鍵の故障の原因となります。)
- (2) 鍵は扉がロックされている位置とロックされていない位置(上記図参照)で鍵穴より抜き取ることが出来ます。
- (3) 使用中及び鍵をかけたときは鍵を鍵穴より必ず抜き取ってください。

□部品のはずし方

汚れやすい部分は、清潔に衛生管理が出来るように取り外しが容易な構造としております。

チューブガイド(ミルクチューブ挿入口部品)

ミルク用チューブの挿入口に使用している部品は、下図に示すように2個の部品で構成しています。チューブガイド本体またはしめつけ部品のどちらかを回転させることにより本体より容易に取り外すことが出来ます。



部品を外したまま使用しますと、冷気が洩れて冷えが悪くなると同時に消費電力が増加します。

警告

内部に可燃物を入れない	
	内部にラッカー、ペイント、シンナー、可燃性スプレーなどの可燃物を入れないでください。
	爆発や火災の恐れがあります。
上に乗らない、揺すらない、傾けない	
	上に乗ったり、揺すったり、傾けたりしないでください。
	転倒事故の恐れがあります。
濡れた手でスイッチを操作しない	
	濡れた手で内部のスイッチを操作しないでください。
	感電の恐れがあります。
電源コードを破損したり、引っばらない	
	重いものを乗せたり、加工したり、引っばったりしないでください。
	破損して、感電や火災の恐れがあります。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

警告

異常時は直ちに電源プラグを抜く	
 	異臭、発煙、発火等の異常時は、直ちに電源プラグを抜き、専門の修理技術者またはお買い上げ先に連絡してください。
	異常のまま運転を続けると感電、火災の恐れがあります。
水に浸かった電気部品はそのまま使用しない	
 	水分、泥、ごみ等を完全に除去して絶縁が回復していることを確認してから修理専門技術者が組み立ててください。
	感電や火災の恐れがあります。
修理は専門知識を有する人が行う	
 	●修理は専門の修理技術者またはお買い上げ先に依頼してください。
	●修理部品は純正部品をご使用ください。(修理に不備があると感電、火災、けがの恐れがあります。)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

運転方法

- ①. アース用接続線をアース端子に接続します。
- ②. 電源コードのプラグを相手の電源コンセントの根元まで確実に挿入します。
(電源スイッチは必ずオフ(切)の状態にしてください。プラグ挿入時に火花や感電の危険があります)。
- ③. 電源スイッチをオン(入)にします。
- ④. 運転表示灯が点灯し、運転を開始します。
- ⑤. デジタル温度計により自動温度調節を行い、圧縮機は自動運転を続けます。(運転を止めるときは電源スイッチをオフ(切)にし、運転表示灯が消えているのを確認ください)

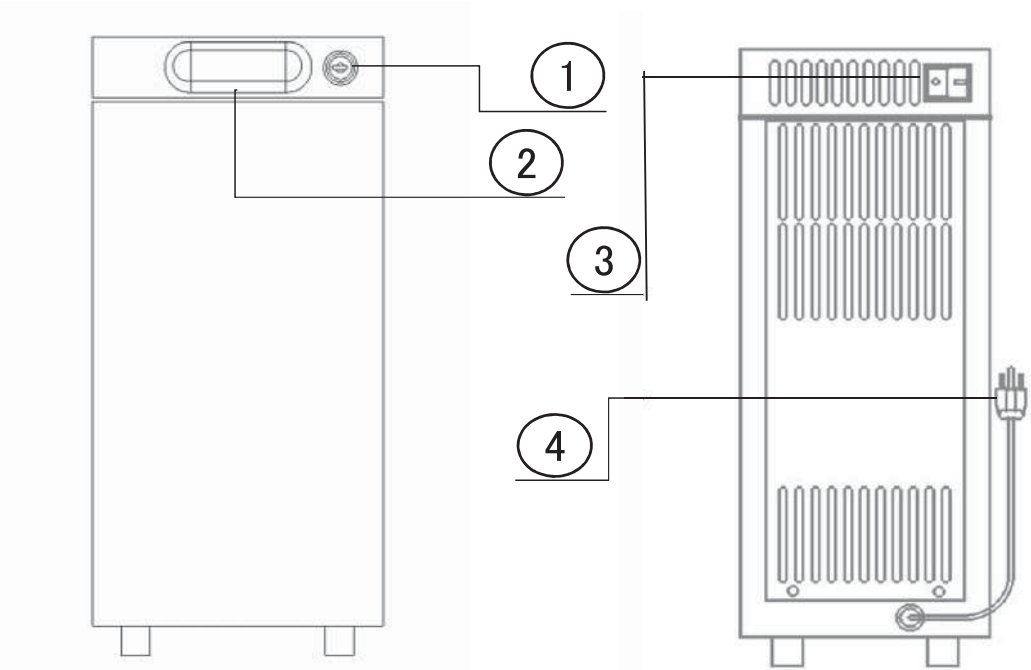
□ミルク室の温度コントロール
 ミルク室の温度コントロールは、ミルク室背面部に埋め込んだ温度検知器(サーミスタ)によりミルク室内の温度を感知し、自動で温度管理をしています。
 (本ミルククーラーは、衛生上ミルクの温度を直接感知する方法を避け間接的に温度感知をする方式を採用しております。)

- ・デジタル温度計の設定値は、ミルクの平均温度4℃～6℃となっています。
- ・デジタル温度計は、ミルク室の状態によって温度感知に多少の影響が出る場合があります。

- ☆ ミルクパック交換など扉の開閉時間にご配慮ください。
- ☆ 設置場所の周囲に設定温度より熱いものを置かないでください。置いた場合、温度が高いと判断してミルク室の設定温度が低くなっても冷却運転を停止しない場合があります。
- ・間接温度感知のためデジタル表示温度とサーミスタ感知温度に多少のズレが生じる場合があります。

*デジタル温度計の設定は、別冊取扱説明書をご覧ください。

□各部の名称と運転方法



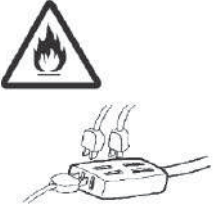
1、扉ロック用鍵

2、温度表示

3、電源スイッチ

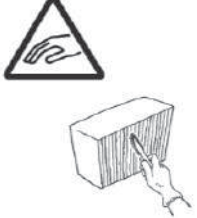
4、電源コード

 注意

国外で使用しない	
	国内で使用する目的で設計されています。
	国外で使用する、電源電圧が異なり、発火、発煙、焼損の恐れがあります。
つぎの場所に据付けるときは相談する	
	つぎのような場所に据付ける時は、お買い上げ先にご相談ください。
	●潮風や腐食性ガスにさらされる場所
	●揺れや振動の多い場所
電源コンセントは専用とする	
	電源コンセントは他の製品と共用しないでください。
	延長コードの使用やたこ足配線は、火災の恐れがあります。
電源容量は機器の定格に合わせる	
	電源容量は必ず機器の定格に合わせてください。
	許容電圧、電流の小さい電源を使用すると火災の恐れがあります。

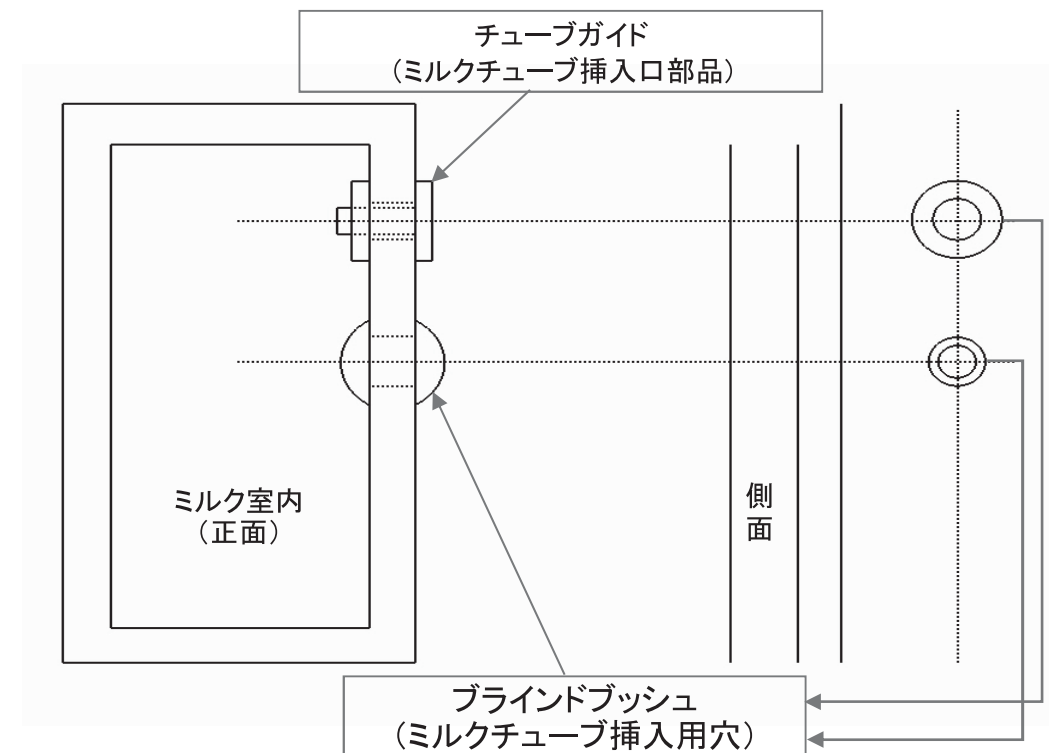
ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

注意

電源コードは束ねて使用しない	
	電源コードは束ねて使用しないでください。
	発熱して火災や感電の恐れがあります。
動作部に触れない	
	内部の動作部に触れないでください。
	けがの恐れがあります。
扉を閉める時に指をはさまない	
	扉を閉める時は指をはさまないよう注意してください。
	けがの恐れがあります。
コンデンサーの清掃は素手でしない	
	コンデンサーを清掃するときは、厚手の手袋を着用し、柄の長いブラシで清掃してください。
	コンデンサーの金属端面に触れるとけがの恐れがあります。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

□ミルクチューブ挿入口部品の取り付け方法



- (1) ミルク用挿入口は、ミルク室の正面に向かって、右、左サイドに二カ所設けてあります。
- (2) ミルクチューブ挿入口部品は、着脱可能な構成となっております。お互いの部品のねじ込みにより取り付け、取り外し可能となっております。
- (3) ブラインドブッシュは、ミルクチューブ挿入用穴より取り外し可能なように弾性的に穴に挿入されています。
- (4) 上記図示の位置にミルクチューブ挿入口部品を取り付けておりますが、下部に移す場合は下記のように取り付け変更をお願いします。
 - ・ミルクチューブ挿入口部品及びブラインドブッシュを取外します。
 - ・ミルクチューブ挿入口部品を下部の穴に挿入し、両サイドよりお互いの部品をねじこみ確実に固定します。(15ページ参照)
 - ・ミルクチューブ挿入口部品を取り付けていた穴にブラインドブッシュを両側に根元まで確実に挿入してミルクチューブ挿入穴を密封します。

□使い始めの手順

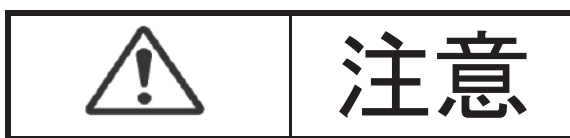
- 1、ミルク室内を清掃する
 - ・しめらせた柔らかい布で。
- 2、レシーバを清掃する
 - ・しめらせた柔らかい布で。
- 3、専用コンセントに接続する
 - ・電源プラグは根元まで差し込む。
- 4、十分冷えてからミルクパックを入れる
 - ・夏場など外気温の高いときは、ミルクが十分に冷えるまで時間がかかることがあります。

□上手なミルクパックの入れ方

- パック間に隙間をあける
 - パック間に隙間がないと、冷気の流れが悪くなり、冷えが遅くなります。
- パックは清潔に
 - パック表面は意外に多くの汚れがついています。しめらせた柔らかい布で拭き取ってください。
- パックは冷えた状態で
 - パックの鮮度保持と同時に、冷却室の温度上昇への影響を低減することができます、電気代の節約となります。
- 新たなパックは離す
 - 冷えているパックの温度上昇への影響を低減することができます。



指定外商品の販売禁止	
	販売可能商品として指定された商品以外は収納しないでください。 変形や液もれしている商品は収納しないでください。
	指定外の商品を収納すると事故発生の恐れがあります。
食品衛生法に従った日常衛生管理をする	
	中身商品は食品衛生法に従った日常衛生管理をしてください。
	不適正な日常衛生管理は事故の発生の恐れがあります。
電源コードに熱器具を近づけない	
	電源コードの被覆が溶けることがありますので熱器具を近づけないでください。
	火災、感電の恐れがあります。
水をかけない	
	本体は防水・防滴仕様ではありませんので水掛け、水洗いは厳禁です。
	電気部品は水をかけたり、水洗いしたりしないでください。
	感電の恐れがあります。
ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。	



電源プラグは定期的に点検する	
	電源プラグは一年に一度定期点検し、ほこりを抜き取り根元まで確実に差し込んでください。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。
警告表示類は常に正しく読めるようにする	
	警告表示類は常に正しく読めるよう清掃や貼り替えをしてください。 見にくくなると事故発生の恐れがあります。
フロン回収および廃棄は専門業者に依頼する	
	この機器は第一種特定製品です。フロン排出抑制法(平成27年4月1日施行)を遵守してください。
	廃棄をするときは、専門業者の(株)サンコー冷機 TEL:047-358-3478へご相談ください。
	フロン回収をするときは、専門業者の(株)サンコー冷機 TEL:047-358-3479へご相談ください。
	放置による環境汚染や事故発生の恐れがあります。
ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。	

運送、運搬、据付け場について

このクーラーは室内専用につくられています。運送、運搬、据付けの時は次の点にご注意ください。

(1) 運送、運搬時のご注意

- ① 運送は正規の梱包状態で行ってください。「はだか」での運送は雨の侵入によるトラブルや、傷つきの原因になります。
- ② 梱包を開いた後”ねこ車”などで据付け場所に運搬するときは、毛布などを敷いて傷が付かないようにしてください。

(2) 据付け場所について

風雨や日光に直接さらされない建物内に据付けてください。

□据え付け

①.据え付け場所は

◎床が丈夫で水平なところ

・ミルククーラー底面の熱で変色する恐れのある床、柔らかい床、弱い床などの場所では、丈夫な保護板を敷いてください。

◎熱気、直射日光の当たらないところ

・冷却力をおさえ、電気代の節約になります。
・直射日光は、ゴム、プラスチック部品の変色原因となります。

◎湿気が少ない風通しのよいところ

・カビによる変色、臭いの発生をおさえます。
・電気代の節約になります。

②.周囲に十分な放熱スペースをあける

◎最低左右5cm以上、背面10cm以上、上部10cmのスペース

・ミルククーラーはミルクを冷やすため、周囲から熱を逃がしています。効率よく冷やすために周囲に十分な隙間をあけてください。

・背面の壁材が黒く変色するときは(圧縮機周辺の空気の影響です)、壁から更に離すようにしてください。

③.アース(接地)を取り付ける

◎アース線をアース端子に取り付ける

・背面に電源コードと共に取り付けてあるアース線を必ず接地するように接続してください。

・水気の多いところでは、更に漏電遮断器の設置が義務付けられています。